

越境クラウドファンディング「Japan Tomorrow」 宮崎県の空き家再生宿「茶心」が 本物のお茶体験とマインドフルネスな旅を広める 新たなプロジェクトを開始！

株式会社MATCHA(本社:東京都台東区、代表取締役社長:青木優)が運営する越境クラウドファンディング「Japan Tomorrow」にて2月15日(月)、宮崎県新富町にある「こゆ地域づくり推進機構」による新プロジェクトがスタートします。(URL:<https://japantomorrow-jp.matcha-jp.com/projects/tea-hotel>)



■本プロジェクト実施の背景と起案者の思い

宮崎県で”神話の町”と呼ばれる新富町は、訪日外国人よりスピリチュアルスポットとして人気が高く、様々な伝説が随所に伝わっています。その新富町から生まれた 一棟貸切宿「茶心」は地域の活性化を担う重要な役割を持つ宿であり、100年先まで持続可能な地域の実現を目指しています。その「茶心」が現代社会で頑張る人々に向けて提案する、マインドフルネスな旅を広めるために今回のプロジェクトが立ち上がりました。

■一棟貸切宿「茶心」とは

新富町の活性化に取り組んでいる「こゆ地域づくり推進機構」が、地元の名士のお屋敷を受け継ぎ、リノベーションを実施。お茶の栽培が盛んな町の特徴を活かし「茶心」が誕生しました。周辺に広がるお茶畑、お茶にまつわる歴史や文化を大切に「お茶の心を体感する」をコンセプトに運営しています。国内メディアは勿論のこと、台湾の海外メディアにも取り上げられたこの一棟貸切宿は、ゆったりした時間と空間の中で瞑想や、自己と向き合うという特別な体験が出来る、マインドフルネスな場所です。

■プロジェクト詳細

URL: <https://japantomorrow-jp.matcha-jp.com/projects/tea-hotel>

目標金額: 2,000,000円

期間: 2021年2月15日～3月31日

リターン例:

選りすぐりの7種のお茶セット「Jewetea」、「茶心」ペア宿泊権+新富町の3つの茶園のお茶セット等

■越境クラウドファンディング「Japan Tomorrow」とは

「Japan Tomorrow」は訪日WEBメディア「MATCHA」が運営する、越境クラウドファンディングです。日本語、英語、中国語繁体字、タイ語の4か国語に対応しており、これから日本に来たいと思っている海外の方に向けて、訪日前に事前に宿泊券や体験を販売することが出来ると同時に、観光地も訪日客へプロモーションすることができます。



想いなら、海を越えられる。

インバウンド99.9%。訪日外国人観光客の気配は、まだありません。しかし、そのような状況でもMATCHAには「日本に行きたい」と望む声が毎日のように届いています。

いまこそ、日本の知られざる魅力に光をあて、渡航を心待ちにしている世界中の人々に伝えるチャンスです。次に日本へ来たときは、素晴らしい文化や伝統に触れ、想像を超える体験をしてほしい。そうして、日本の価値ある文化が時代とともに残っていく。

MATCHAは、世界の「行きたい」と日本の「来てほしい」を繋ぐ、クラウドファンディングプラットフォームJapan Tomorrowをはじめます。しばらく日本へ来ることはできないかもしれないけれど、きっと、想いなら、海を越えられるはずだから。

4つの特徴

これから日本に来たい訪日客に、「人生を変えるような原体験」を。

Japan Tomorrowでは、これから日本に来たいと思っている海外の方に向けて、普通なら味わうことのできないような「人生を変える原体験」をリターンとして提供するプロジェクトが集まっています。観光事業者にとっては、新たな旅行プランを組み立てるプラットフォームとしてもご活用いただけます。

国内最多、4か国語対応



日本語・英語・中国語(繁体字)
・タイ語に対応しています。

過去10,000記事以上の実績による海外向けサポート

外国人にとって魅力的な起案をアドバイスし、多言語翻訳や海外発送等もサポートします。

月間340万UU、660万PVのメディア連携

日本最大級のインバウンドメディアMATCHAとの相互送客ができます。

会社概要/問い合わせ先

株式会社MATCHA(訪日外国人観光客向けWEBマガジン「MATCHA」運営)

TEL: 03-5246-4299

E-mail: sales@matcha-jp.com

担当者: 森谷(株式会社MATCHA/Japan Tomorrow広報)